

# 令和8年度 さらに、住み続けたいまちへの シティプロモーション戦略

**子育て支援**

**高齢者支援**

**シティプロモーション**

**都市整備**

**オフィシャルアンバサダー**

**行政のDX化**

**<施政方針>**  
令和8年3月定例町議会において  
山上広信町長が令和8年度の  
町政運営についての施政方針演説を行いました。  
その一部を抜粋して紹介します。

現在我が国は、統計史上類を見ない深刻な人口減少と超高齢化が進行中です。また、生成AI等の技術は急速に進化しており、テクノロジー業界だけに留まらず、あらゆる産業、そして私たちの暮らしや働き方に大きな変化をもたらす始めています。さらに、約30年ぶりの物価上昇や、それに伴う消費の低迷、労働力不足や社会保障制度への負担増が懸念される中、本町においても多岐にわたる課題に直面しています。その中でも、人口減少問題は最も重要な課題であると捉えております。

ていきます。  
今はもとより、10年後、20年後の時津町に必要な施策を町民の皆さまと共に考え、50年後、100年後のいつの時代にも生きるまちづくりを目指して参ります。

令和8年度は地方創生交付金を活用し、本町のブランド力を高め、地域活性化「シティプロモーション」に関する業務を、令和7年度に新設した「戦略推進課」において取り組むとともに、オフィシャルアンバサダーを認定し、本町の魅力を国内外に発信して参ります。また、お茶屋や継石坊主ままでの散策路を整備するなど、本町が持つ歴史・文化・自然の魅力ある資源を再評価し、情報共有することで郷土愛の醸成に努めます。

高齢者の皆さまの健康と安心な暮らしを守ると共に、多様な人々が共に尊重し支え合う共生社会を目指します。住み慣れた地域で、生きがいを持って、健康で穏

やかな暮らしができるまちであることが理想です。これまで行ってきた高齢者支援事業の充実を図るとともに、歩くまちづくり事業の推進のため、新たに町道日並左底線等の歩道にゴムチップ舗装を施します。また、シニアクラブ生きがいづくり事業や、地域支え合い活動補助金の支援を継続します。さらに、高齢者向け配食サービス事業や、重度障がい者の外出支援事業ならびに重度障がい者の福祉医療費の現物支給を開始します。

核家族・少子化社会にあっても、安心して子どもを産み、子どもたちが健やかに暮らすことができる環境づくりを目指して参ります。令和8年度は乳幼児1カ月の健康診断、乳幼児2カ月の健康相談を開始し、時津町立学校に医療的ケア看護師を設置します。また、「こども誰でも通園制度」の開始や時津保育所に屋外遊戯場を新設いたします。

さらに、中学生の英語力向上のため、外国人講師と一対一の会話を楽しむ「英語コミュニケーション事業」を開始します。

交流人口の拡大や規制の見直し、行政のDX化を行います。「崎野自然公園」「文化の森公園」「お茶屋や時津街道」をモチーフとした「時津再始動 海と森と歴史が響き合う」プロジェクト」を検討推進します。また、「時津町自治公民館活動費補助金交付規程」を改正し、全ての住民を対象とした「地域絆づくり事業」を新設します。

土地利用の規制緩和として、調整区域における地区計画制度の運用基準を改正し「居住系地区計画」の拡充と「流通系地区計画」の新設を行います。さらに、高齢者等に向けたスマートフォン講座を継続実施し、多くの方が行政手続きのデジタル化による利便性を享受できる環境づくりを推進します。

都市基盤・生活道路の整備に引き続き積極的に取り組んで参ります。現在進行中である「時津中央第2土地区画整理事業」の早期完成と「西時津小島田線（打越工区）」の令和8年度完成を目指します。また、左底宮園地区ならびに西時津田下地区の「急傾斜地崩壊対策事業」の測量・調査に入ります。さらに「野田川緊急自然災害対策工事」を早期に完成させます。

商工業・農林水産業の振興につまましては、シティプロモーションの取り組みにより、本町の魅力発信や産業および特産品等の戦略的な情報発信を行います。引き続き「ふるさと寄付金」の積極的な取り組みを通じて、新たな特産品開発への支援を行い、商工業者・農林水産業者の所得向上を目指すとともに、商工業・農林水産業の振興を図ります。また、構造改革特区として認定を受けた「とぎつ素敵に時を超える」とぎつ

ワイン特区」を活用し、令和8年度は、ワインリー事業への支援を進めて参ります。さらに、とぎつ夏まつり・産業まつりの後継事業である「とぎつ魅力発見フェスタ」をさらに充実させ、町全体をフィールドとした事業に取り組みます。

時代の変化等に対応するための施策として、令和8年度に実施する全町立小中学校のLED化および北部コミュニティセンターの非常用電源の設置・LED化事業等により、ゼロカーボン推進公共設備のLED化が町内のほとんどの施設において完了する予定です。また、本町で初めて本部分団に女性消防団員が誕生し、新たな消防団活動が期待されます。さらに、職員働き方改革を行い、令和8年1月から役場の窓口受付時間を「午前9時から午後5時」に変更しました。

以上のような重点施策を実施するとともに、今年度

も「まちづくり懇談会」を開催いたします。町民の皆さまの貴重なご意見に耳を傾け、共に考えることで、あらゆる事業が相乗効果を持って、安心安全な魅力ある時津町になるよう施策を進めて参ります。幸せを実感できる心豊かな暮らしができる時津町の実現に向け、町民皆さまのご協力を賜りながら「住み続けたいまちとぎつ」になるよう、行政運営に取り組んで参ります。議員各位をはじめ、町民皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



▶ 施政方針の全文は、時津町ホームページに掲載しています。

【行政情報】町長室↓施政方針↓令和8年度 施政方針

# 令和8年度 当初予算

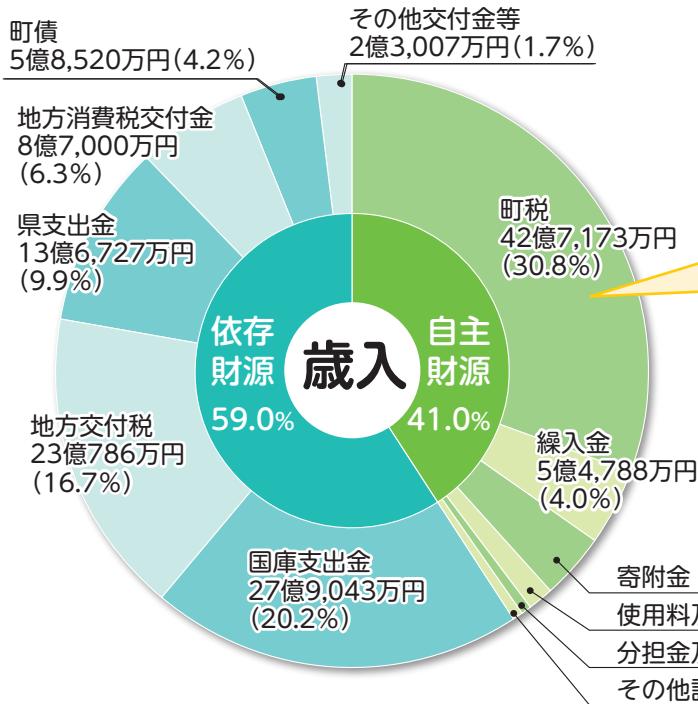
一般会計

138億4,000万円

(前年度比7.9%  
11億8,000万円の減)

施政方針に基づき編成した一般会計、特別会計（国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業）、公営企業会計（水道事業・下水道事業）の令和8年度当初予算が、定例町議会で議決されましたのでお知らせします。

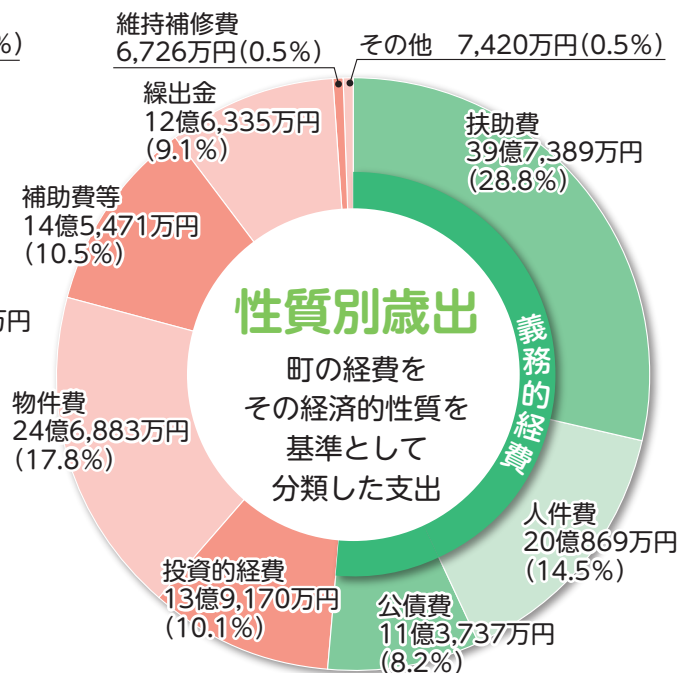
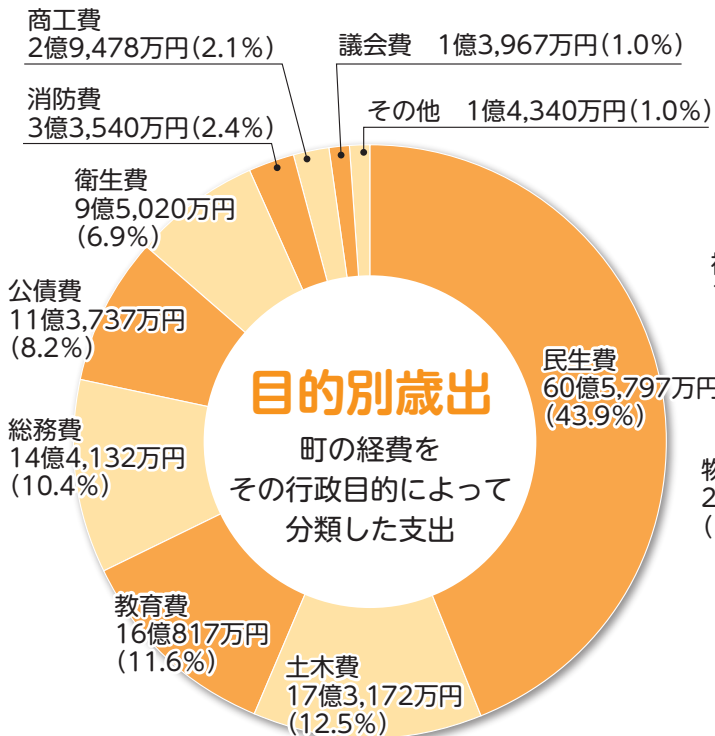
## 歳入 | 138億4,000万円



### 町税の内訳

- 固定資産税 18億5,906万円 (13.4%)
- 町民税 17億557万円 (12.3%)
- 都市計画税 3億5,060万円 (2.5%)
- 町たばこ税 2億3,600万円 (1.7%)
- 軽自動車税 1億2,050万円 (0.9%)

## 歳出 | 138億4,000万円



# 前年度との比較

令和7年度当初予算と比較したときの主な減少要因は以下のとおりです。

**歳出** カナリーホール改修事業  
時津中央第2土地区画整理事業  
自治体情報システム標準化・共通化対応事業

皆減 (13億4,197万円の減)  
5億2,232万円 (3億7,148万円の減)  
878万円 (1億4,764万円の減)

## 特色ある事業

### 総務費 (行政サービスの向上など)

- 現代版時津街道を軸とした歩く  
観光ルートプロジェクト …… 6,136万円
- 公共施設等総合管理計画策定業務委託  
…………… 2,472万円

### 民生費 (社会福祉サービスの充実など)

- 第二子保育料無償化及び第三子以降  
保育料完全無償化事業 …… 5,365万円
- 福祉医療費 (障害者) 現物給付事業 …… 4,946万円
- 高齢者交通費助成事業 …… 2,490万円
- 町立保育所改修事業 …… 2,135万円
- 児童館LED照明更新事業 …… 1,787万円

### 衛生費 (保健衛生や環境衛生など)

- 水道基本料金減免事業 …… 2,743万円
- インフルエンザ予防接種無償化事業  
(乳幼児・小学生・中学生) …… 1,714万円

### 農林水産費 (農林水産業の振興など)

- 時津農産品ブランド力強化振興奨励金 …… 1,703万円
- 山陰ため池改修事業 …… 1,500万円

### 土木費 (区画整理、道路のインフラ整備など)

- 第2土地区画整理事業 …… 5億2,232万円
- 西時津小島田線 (打越工区) 道路事業 …… 3億9,550万円
- 急傾斜地崩壊対策事業 …… 6,100万円
- 西時津小島田線 (札ノ元工区) 街路事業 …… 3,707万円
- 下水道基本料金減免事業 …… 3,629万円

### 教育費 (学校教育や生涯学習の振興など)

- 小学校1人1台端末更新事業 …… 1億87万円
- 町立小学校給食食材購入委託費 …… 9,713万円
- 時津公民館非常用電源設備等設置事業 …… 4,055万円
- 時津公民館別館解体事業 …… 2,844万円
- 町立中学校給食食材費補助金 …… 1,274万円
- 英語コミュニケーション事業 …… 1,166万円

町民1人あたりに  
使われているお金は？

# 480,706円

です。その内訳を見ると…

### 議会費 町議会運営費として

4,851円 令和7年度 4,572円  
(増減+279円)



### 土木費 区画整理、道路等のインフラ整備に

60,148円 令和7年度 66,588円  
(増減-6,440円)



### 総務費 一般行政事務費として

50,062円 令和7年度 55,521円  
(増減-5,459円)



### 消防費 消防活動や消防団育成に

11,649円 令和7年度 12,082円  
(増減-433円)



### 民生費 社会福祉サービスの充実に

210,412円 令和7年度 199,783円  
(増減+10,629円)



### 教育費 学校教育や生涯学習の振興に

55,857円 令和7年度 93,125円  
(増減-37,268円)



### 衛生費 保健サービスや快適な環境づくりに

33,003円 令和7年度 33,238円  
(増減-235円)



### 公債費 町の借入金の返済に

39,504円 令和7年度 35,016円  
(増減+4,488円)



### 商工費 商工業の振興に

10,239円 令和7年度 10,398円  
(増減-159円)



### その他 農林水産業の振興や災害復旧に

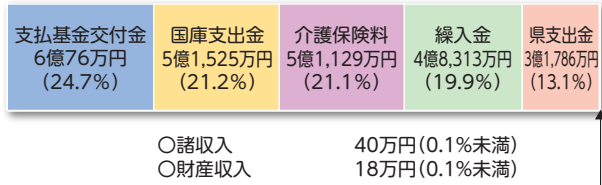
4,981円 令和7年度 7,697円  
(増減-2,716円)



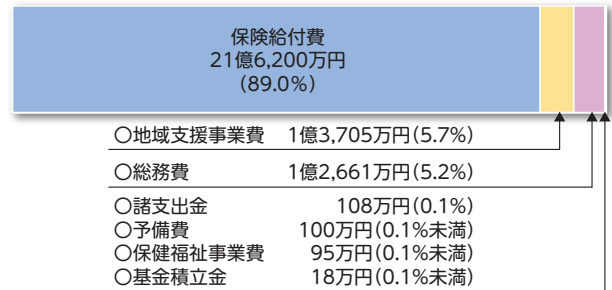
## 介護保険特別会計 令和8年度予算

介護保険事業（前年度予算 24億869万円、前年度比 100.84%）

●歳入 24億2,887万円

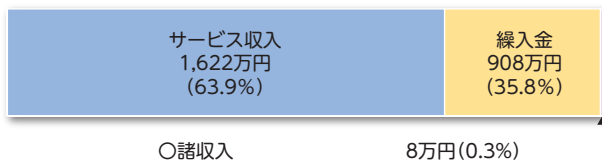


●歳出 24億2,887万円

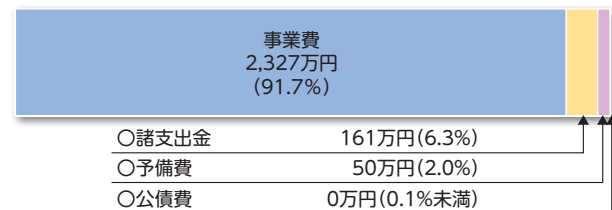


介護サービス事業（前年度予算 2,344万円、前年度比 108.28%）

●歳入 2,538万円



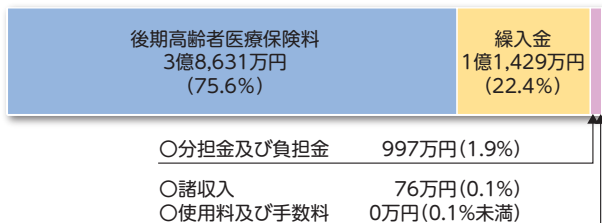
●歳出 2,538万円



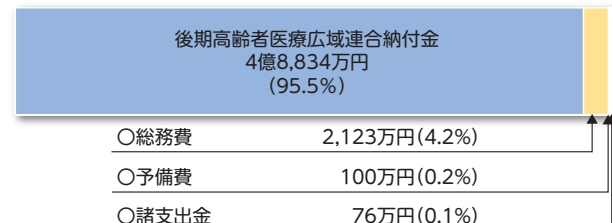
## 後期高齢者医療特別会計 令和8年度予算

（前年度予算 4億7,725万円、前年度比 107.14%）

●歳入 5億1,133万円



●歳出 5億1,133万円



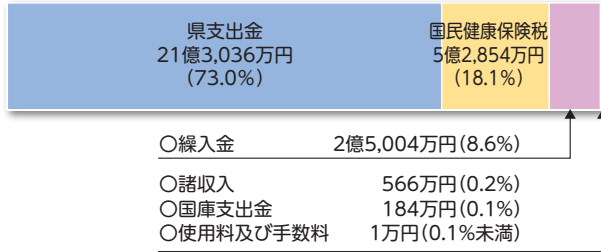
### 用語の説明

- ①歳入：町における1年間のすべての収入。
- ②歳出：町における1年間のすべての支出。
- ③一般会計：町が行う行政運営の基本的な経費を計上したもの。
- ④特別会計：特定の事業を行う場合に、その特定の事業に対する歳入を歳出にあて、一般会計とは区別されるもの。
- ⑤公営企業会計：事業経営による収入で経費を賄う独立採算制をとる会計。（水道事業会計など）
- ⑥自主財源：町が自主的に収入できる財源。（主に町税など）
- ⑦依存財源：国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入の財源。（主に地方交付税、国庫支出金など）
- ⑧町税：固定資産税、町民税など。時津町の歳入の中で一番大きな収入。
- ⑨地方交付税：国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税を一定の割合で国が地方に交付するもの。
- ⑩町債：町が各種事業を実施するために国やその他の金融機関から借り入れる資金のことで、通常10年以上かかって返済される。
- ⑪国庫支出金（県支出金）：国（県）が特定の目的のために交付する補助金など。

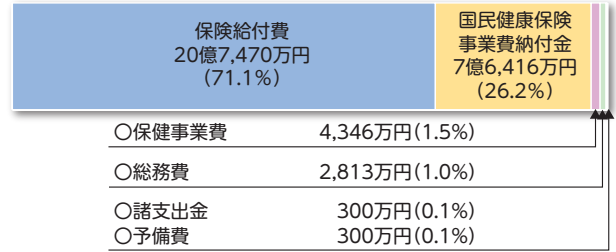
## 国民健康保険特別会計 令和8年度予算

(前年度予算 28億1,387万円、前年度比 103.65%)

### ●歳入 29億1,645万円



### ●歳出 29億1,645万円

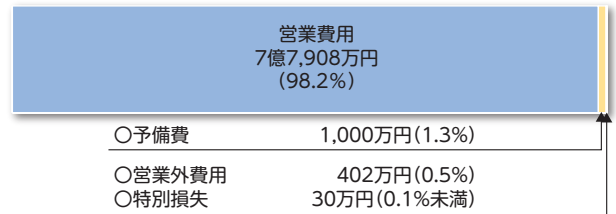


## 水道事業会計 (公営企業会計) 令和8年度予算

### ●収益の収入 7億8,371万円



### ●収益の支出 7億9,340万円



### ●資本の収入 2,863万円

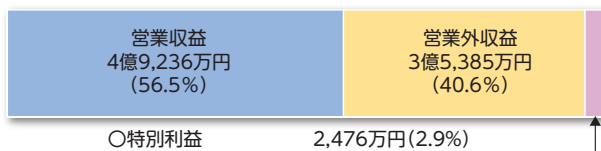


### ●資本の支出 7億3,660万円

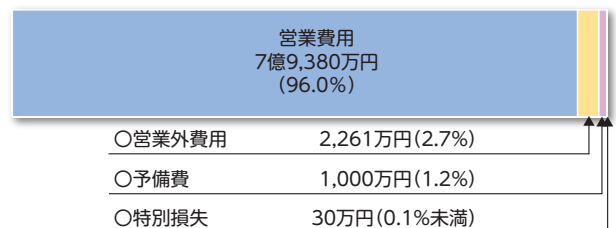


## 下水道事業会計 (公営企業会計) 令和8年度予算

### ●収益の収入 8億7,097万円



### ●収益の支出 8億2,671万円



### ●資本の収入 8億5,353万円



### ●資本の支出 11億5,209万円

